令和3年5月10日

小牧市長 山下 史守朗 様

小牧市議会議長 舟 橋 秀 和

新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急要望

新型コロナウイルス感染症が全国的に再拡大する中、国は先月20日から愛知県に「まん延防止等重点措置」を適用したが、一向に改善する状況になく、今月12日からは愛知県に「緊急事態宣言」を発令することとなった。

全国的に従来型の新型コロナウイルスよりも感染力が強いとされる変異したウイルス（変異株）が広がり、第4波の爆発的な感染拡大が危惧される中、小牧市においても4月以降徐々に感染者の増加傾向が強まり、市民の危機感は一層高まっている。

そのような中、これまでは大人を中心とした感染状況であったが、園児等の若年層の感染も相次いで報告され、変異株の影響が非常に心配される場所である。特に低年齢児はマスクを常時着用することができないことから、保育士等の感染リスクも高く、不安が高まっている。

そこで、市議会として様々な検討を踏まえたうえで、保育士等が安心してこどもに向き合える環境を整えることができるよう、下記の事項に対し、速やかな対策を講ずることを強く要望する。

記

1. 保育施設等における感染拡大防止のため、新型コロナウイルスの感染者が発生した市内の保育施設、幼稚園、認定こども園等の職員に対して、事業者が自費で実施したPCR検査等の費用補助制度を早急に創設すること。
2. 市立の保育園等で勤務する職員においても同様の措置を講ずること。